

O's news

オーズニュース

2014

第117号

10

2014年10月1日発行

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1 TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

<http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

Functional image (脳機能画像)

脳神経外科部長 兼 放射線科部長 林 真人

現代医学の進歩に伴い、画像診断での進歩は目覚ましいものになっています。画像診断の最初としては、1895年X線を発見し1901年第一回ノーベル物理学賞を受賞したビートルズ博士から始まりました。その後CTスキャンがイギリス人のゴッドフリー・ハウズフィールドによって1967年に発明され、1979年にノーベル医学生理学賞を受賞しました。ちなみにCTスキャン(当時はEMIスキャナーと呼ばれた)はイギリスのEMI社で研究開発されたものですが、その音楽事業部に所属していたのがビートルズです。記録的なレコードの販売が、CTスキャナーを含めたEMI社の科学研究資金の供給源であったため、CTスキャナーは(ビートルズによる最も偉大な遺産)とも言われています。現在脳神経外科の分野で欠かすことのできない検査であるMRIは1980年代に登場しました。上記2種類の検査が放射線被爆するのに対してMRI検査は放射線被爆を全くいたしません。

今回の表題でもあるfunctional imageについてですが、上記の検査は今まで形態のみの検査でした。しかしながらfunctional image (脳機能画像)は文字通り、機能を描出する検査です。

1991年Belliveauらによって造影剤を用いると、光刺激に伴って後頭葉に賦活(刺激)領域が見出されることがわかりました。(後頭葉とは視覚を司るところなのです。)1990年Ogawaらによって、ラットの脳静脈が酸素濃度の上昇によって画像上信号強度が上昇する(白くなる)という報告がされました。これをBOLD効果というものです。脳賦活(刺激)が生じた場合その領域の局所脳組織は、安静時に比べて酸素を消費します。すると上記のごとく画像上信号強度が低下(黒くなる)になります。これを画像化したものが脳機能画像で、運動線維、言語領域、視野領域などいろんなものを画像で表現することが可能で脳腫瘍の手術をはじめ臨床的に大いに役立っています。

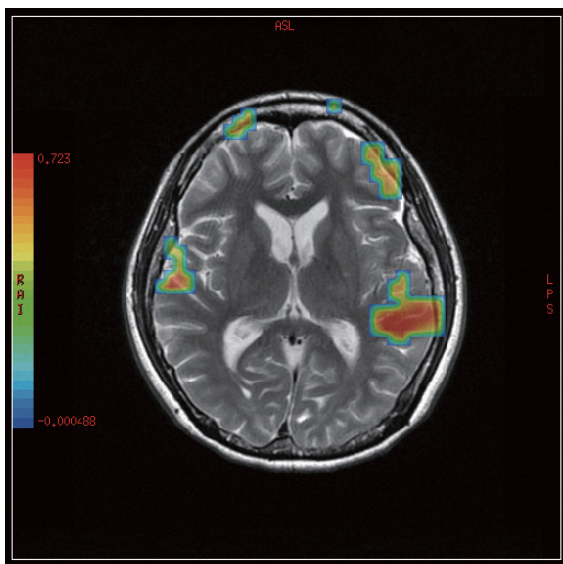


図1 言語聴き取り試験

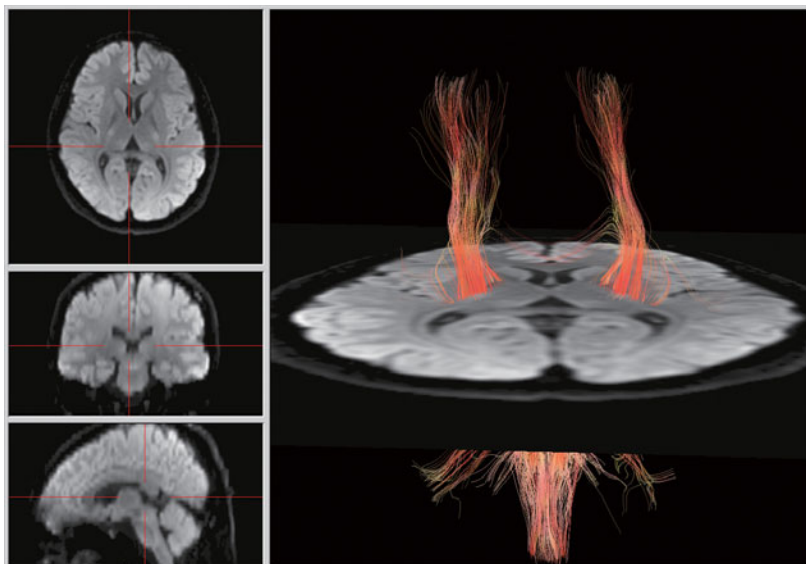


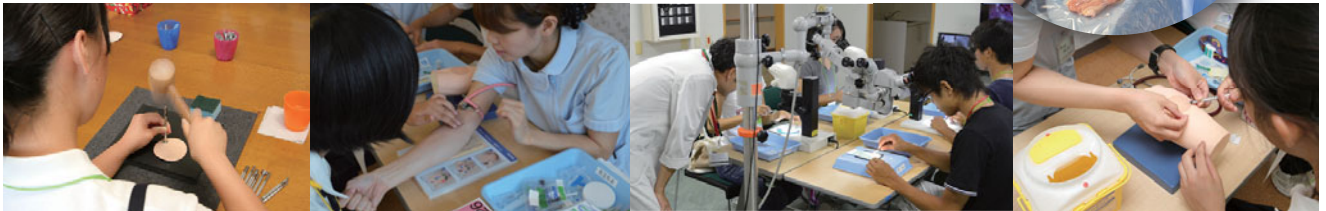
図2 錐体路(運動神経)の描出

オープン ホスピタル 2014 開催



副院長兼統括看護部長 山本 孝子

8月23日（土曜日）14時から17時までオープンホスピタル2014を開催いたしました。参加していただいた皆様には、ふだん見慣れない医療の現場を院内ツアー形式で回りながら体験をしていただくことができました。開催も今年で4回目となり、専門スタッフは工夫を凝らしつつ自らも楽しむことができたようです。医療・看護系に進学・就職をお考えの学生の方やそのご家族さまなど、75名の参加をいただき無事に終えることができました。また、多くの方々の進路相談もお受けし、医療・看護職を目指す方々のお役に立つことができたことをうれしく思っています。次年度も、さらにパワーアップをして多くの方々をお迎えしたいと思っています。



医療安全管理室の活動紹介

看護部長 兼 医療安全管理室 副室長 久下 久美子

たとえば、私が、けがや病気の当事者になったとき、または家族であるとき、とても大きな不安を抱くことになると思います。それは、他の人にはなかなか分かるものではありません。そこで、当院は、次に示す理念のもとに医療を展開しています。「生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する」すなわち、生命を預かり、良質で適切な医療を提供するという使命・思いが込められています。この理念の下、私達は、患者さま・ご家族の期待に応えられるように、日々、医療に関する知識の習得や医療技術の研鑽に励み、安全で確かな医療、質の高い医療の提供に向けて努力しています。

しかし、新聞・テレビなどでご存じと思いますが、医療界でも事故はゼロではありません。そこで、大西脳神経外科病院の患者さま・ご家族に安全な医療を提供するための、組織的活動を担っているところが医療安全室です。

具体的活動として、まず、「人間は間違ふ」ということを前提にして、確認作業の徹底を啓発しています。そして、「ヒヤリとしたこと」や「ハットしたこと」など、間違いに至らなかったことも含めて、インシデントとして報告してもらっています。さらに、それらの報告を生かして、事故防止策を講じ、周知・徹底を図っています。また、現場をラウンドして注意喚起したり、広報誌発行などで情報を共有し、医療安全の確保に向けて取り組んでいます。

医療安全確立への取り組みはサバイバルで、終わりなき戦いです。職員にもそのことを伝えています。患者さま・ご家族の協力も重要な防止対策です。私たち職員とともに安全を担保していく協力者として、お力を貸してください。今後ともよろしくお願いいたします。





日本の四季暦「二十四節気と七十二候」のお話

神無月 かなづき

ガーデンQoo 秋吉 美穂子

全国の神様が出雲大社に集まり、土地の神様がいなくなることに由来しているといわれています。出雲大社では「神在源」が行われ、東十九社、西十九社とよばれる長尾状の神様の宿泊所があります。

二十四節気

十七節気

かんろ **寒**

朝夕はひんやりと冷気が増し、朝露が冷たく感じられます。「秋の日はつるべ落とし」日暮れが急に早くなります。

露

七十二候

8日～12日(四十九候) **鴻雁来** がんきたる

冬の訪れを感じる風物詩、北国から鴨や白鳥、そして雁が渡ってきます。

13日～17日(五十候) **菊花開** きっかひらく

旧暦九月九日、菊の花びらを浮かべたお酒で長寿を祝いました。短日植物の菊の花は、日照時間が短くなるこの季節に咲き、日本の秋を彩ります。



18日～22日(五十一候) **蟋蟀在戸** きりぎりすとにあり

こおろぎやきりぎりすなど秋の虫たちの声が戸口に響きます。哀愁のある声は、秋の深まり、夜長を感じさせます。後の名月十三夜は10月20日頃で、栗名月、豆名月とも呼ばれます。

二十四節気

十八節気

そうこう **霜**

霜が降り始める頃、朝夕に冷えこみ、日が落ちるのも早まります。

降

七十二候

23日～27日(五十二候) **霜始降** しもはじめてふる

うっすらと、白く光る霜は、秋の深まりと共に季節の移ろいを実感します。

28日～11/1(五十三候) **霎時施** しぐれときどきほどこす

突然ざっと雨が降ったかと思えば晴れ間ののぞくいわゆる時雨(しぐれ)の頃です。金木犀がどこからともなく香っています。

11/2～11/6(五十四候) **楓蔦黄** もみじつたきなり

もみじやつたが紅葉してゆくというこの季節、東西に長い日本列島は、北から前線が日ごとに南下します。年末の風物詩、酉の市がひらかれます。



季節の花

秋桜

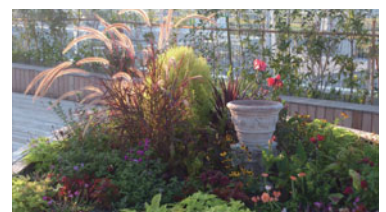
コスモス

春まき一年草／原産地：メキシコ／花ことば：誠実、乙女の真心

日本の秋を代表する草花です。明治中頃に文部省が全国の小学校に配布し広まってゆきました。コスモスは英語で「宇宙」cosmosの意味ですが植物としてはギリシャ語の「美しい」(Kosmos)に由来しています。

秋晴れの青空の下、ピンク、濃いピンク、白の風に揺れるその姿は誰からも愛されます。種まきは3月(下旬)～9月まで可能で、時期をずらせば長期間楽しめます。

早咲き、遅咲きの品種やキバナコスモス、チョコレートコスモスなど多くの種類があります。日が短くなることにより花芽をつける短日植物の為、夜に外灯がついて明るい場所では蕾がつかないので、注意しましょう。日当たり、風通しのよいところで肥料は控えめに、高さ調整の切り戻しと花柄つみを繰り返すことで元気に育ちます。



屋上庭園



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	埜本	久我	林	児玉
	午後	埜本	大西	久我	林	児玉
2診	午前	高橋	高倉	山田	高村	福留
	午後	高橋	高倉	山田	高村	福留
3診	午前	担当医	二村	角田	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医(第1・3丸山)	担当医	担当医	岡本	前岡
	午後	担当医(第1・3丸山)	二村	角田	担当医	担当医
6診	午前	—	—	脳血管内 治療外来 大西(宏)	埜本	麻酔科 鈴木
	午後	脊椎・脊髄外来 久我	脊椎・脊髄外来 林	担当医	—	麻酔科 鈴木
7診	午前	神経内科 立花	—	—	内科 竈門	神経内科 上田
	午後	神経内科 立花	—	—	内科 竈門	—
脳ドック		埜本	埜本	久我	埜本	児玉

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H26.10)

連携協力医療機関のご紹介 (No.64)

やすずみ眼科 院長 安澄 衛一郎

診療科目:眼科

住所:明石市大久保町江井島 915-2

電話:078-947-6606

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(15:00~18:00)	○	※	○	/	○	/	/

※火曜日の午後は白内障手術

安澄院長からのメッセージ

地域の眼科かかりつけ医として診療しています。目の症状があればお気軽にご相談ください。



連携協力医療機関のご紹介 (No.65)

志岐クリニック 院長 志岐 裕源

診療科目:内科・消化器科

住所:明石市西明石南町 3-1-3

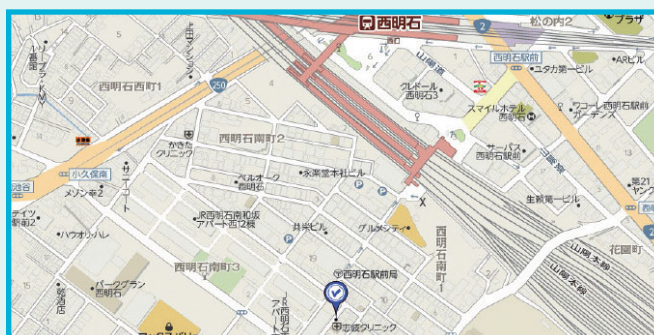
電話:078-925-2227

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○	○
午後(16:30~19:30)	○	○	○	○	○	/	/

※祝日は休み

志岐院長からのメッセージ

内科全般、特に消化器・糖尿病などを中心に診療しています。よろしくお願いいたします。



お知らせ

他院にも掛っておられる方は、お薬手帳や血液検査データ、紹介状などもご持参ください。紹介状がある方も保険証は必要です。必ずご持参ください。

JR大久保駅～山陽電鉄江井ヶ島間で無料送迎バスを運行しています。受診予約はかかりつけの診療所からいただけます。詳しくは地域医療連携室まで。駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者様にはサービス券をお渡しします。

